

## 鳥取市議会予算審査特別委員会文教経済分科会会議録

会議年月日	令和7年2月26日（水曜日）		
開 会	午後1時13分	閉 会	午後4時41分
場 所	市役所本庁舎7階 第2委員会室		
出席委員 (8名)	分科会長 石田憲太郎 副分科会長 中山 明保 分科員 柳 大地 水口 誠 金田 靖典 西村紳一郎 長坂 則翁 砂田 典男		
欠席委員	なし		
委員外議員	なし		
事務局職員	参事兼調査係長 遠藤 全	議事係主任	橋本 圭司
出席説明員	<p><b>【経済観光部】</b></p> <p>経済観光部長 大野 正美 次長兼経済・雇用戦略課長 渡邊 大輔          経済・雇用戦略課課長補佐 岩崎 勝紀 経済・雇用戦略課地域経済係長 保崎 克巳          経済・雇用戦略課雇用政策係長 鈴木 元気 スマートエネルギータウン推進室長 大角真一郎  <small>経済・雇用戦略課スマートエネルギータウン推進室長</small> 保木本 淳 次長兼企業立地・支援課長 福山 博俊          企業立地・支援課参事 田中 英利 企業立地・支援課課長補佐 能勢 光介          企業立地・支援課誘致・振興係長 山根 裕史 観光・ジオパーク推進課長 平井 宏和          観光・ジオパーク推進課参事 中本 恵 観光・ジオパーク推進課課長補佐 川口 隆          観光・ジオパーク推進課観光振興係長 岩田 宜真 経済観光部参事 川口 泰弘          鳥取市関西事務所長 坂本 欣生</p> <p><b>【農林水産部】</b></p> <p>農林水産部長 坂本 武夫 農政企画課長 増田 泰則          農政企画課課長補佐 蔵増 達弘 農政企画課担い手支援係長 高橋 誠          農政企画課生産振興係長 清水 保朝 農政企画課鳥獣対策係長 瀬戸川善一          林務水産課課長 山田 泰弘 林務水産課課長補佐 西谷 直之          林務水産課主査兼水産漁港係長 藤木 保州 次長兼農村整備課長 長石 良幸          農村整備課課長補佐 大和谷雅人 農村整備課総務係長 池田 泰博</p> <p><b>【農業委員会】</b></p> <p>事務局 長 川口 悦代 局長補佐 広谷 英之          農地係 長 堀 春樹</p>		
傍 聴 者	なし		

会議に付した事件	別紙のとおり
----------	--------

予算審査特別委員会文教経済分科会に切り替え 午後1時13分 再開

【経済観光部】

議案第11号令和7年度鳥取市一般会計予算について（説明）

◆石田憲太郎分科会長 はい、それでは全員おそろいのようにありますので、午前終わり次第切替をいたしました予算審査特別委員会文教経済分科会を開会いたします。それではまず、議案第11号令和7年度鳥取市一般会計予算のうち、所管に属する部分を議題といたします。執行部より説明をお願いします。渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼経済・雇用戦略課長 経済・雇用戦略課、渡邊でございます。それでは議案第11号令和7年度鳥取市一般会計予算経済観光部に関する説明をいただきます。本日の説明は、お配りをさせていただいております資料の3、それから資料の4、こちらにおいて説明をさせていただきますので資料を御覧いただきたいと思います。また、説明におきましては2月補正の予算のときと同様ですね、項目が多数ありますので担当課の判断におきまして、説明を割愛させていただく部分もあると思いますのでよろしく願いいたします。

それでは資料3ページをおはぐりくださいませ。まず、歳入でございます。歳入につきましては、2月補正もございましたけれども、歳出と関連するものが多数ありますので、歳出事業と併せて説明をさせていただけるということになるかなと思っておりますが、数件の説明がございますので御覧いただきたいと思います。まずは3ページの下の方でございます。15国庫支出金、02国庫補助金、01総務費国庫補助金、02総務費補助金でございます。物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金でございます。予算書は105ページになります。その中で、まずは経済・雇用戦略課の分です。こちらにつきましては歳出事業、人材確保推進事業費に140万円、それから働き方改革推進事業費に166万円、それから物産振興体制強化事業費に2,265万4,000円、それから公設地方卸売市場事業費特別会計への繰出しに2,000万円、それから、かみんぐさじ管理事業費に34万9,000円、それから、あおや和紙工房管理事業費に113万7,000円、合計の4,720万円をそれぞれの事業に充当させていただくこととしております。以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 福山次長。

○福山博俊次長兼企業立地・支援課長 企業立地・支援課、福山です。その下です。国庫支出金の中の同じく物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金であります。予算額は9,775万5,000円です。これはそこに記載をしております各種金融対策利子補助金のほか、起債の事業に充当しようとするものです。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課、平井です。はぐっていただきまして4ページ、同じく物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金でございます。こちら、事業といたしましては、周遊観光促進事業費に1,429万5,000円、宿泊キャンペーン事業費に2,429万3,000円、国際観光推進事業費に1,529万8,000円、観光産業育成支援事業費に500

万円、流しびなの館管理事業費給与上昇分のところですけども、こちらに64万5,000円を充当させていただいております。説明以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 福山次長。

○福山博俊次長兼企業立地・支援課長 企業立地・支援課、福山です。その4つ下になります。16番県支出金の中の県補助金、商工費県補助金、商工費補助金の中の工業団地再整備事業補助金であります。予算額は1,331万2,000円になります。これは、河原町の布袋工業団地整備、この際に、財源に充当しました起債の償還元金に対して県の補助制度がございます。補助率は2分の1ということでありまして、このお金に当たるものであります。なお、受入先としては、長期借入金利子償還金に充当する予定です。

続きまして6ページを御覧ください。6ページの上から2つ目になります。17番の財産収入の中の財産運用収入、財産貸付収入、土地建物貸付収入、土地貸付収入であります。予算額は2,156万7,000円です。これは企業の立地などに係る普通財産土地、これの貸付料ということになります。そこに少し記載をしておりますが、具体的には4件、鳥取開発公社、それからパナソニックアソシエイツ鳥取、サングルメ、そして中国電力、この4社に対する貸付料となっております。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼経済・雇用戦略課長 経済・雇用戦略課、渡邊でございます。そうしましたら7ページおはぐりくださいませ。7ページの下から2つです。05雑入、02雑入、04雑入のうち、その他雑入の（ふるさと産業規模拡大等事業費補助金返還金）でございます。16万8,000円の収入となります。これはふるさと産業、これは和紙だとか、陶磁器だとか、そういったもののふるさと産業につきまして、既存の事業の拡大に伴う設備導入でありますとか、新たな商品の開発・製造・販売、そういったことに係る事業に対して支援するものでございますが、こちらの補助金を受けて建屋の改修等を実施されましたが、残念ながら場所を移動されて事業を行うということになったということで、そのため、補助金の返還となったものです。月に1万4,000円の返還をいただいておりますので、今後は令和8年度の中旬までの支払になります。月1万4,000円の12か月分、16万8,000円の歳入ということになります。

そして、その下でございます。ミニポートピア環境整備協力金1,567万3,000円です。鳥取市の南隈にございますミニポートピア鳥取の、こちらの収益の1%を環境整備協力費として尼崎市よりいただくものでございます。一部76万3,000円につきましては、歳出の課目でございますが、ミニポートピア環境整備対策費に充当されるものでございます。そのほかは一般財源として本市の事業に活用されるということになります。歳入の説明は以上になります。

続きまして歳出に入ります。9ページをお開きくださいませ。歳出でございます。上から2番目03民生費、01社会福祉費、05老人福祉費、07シルバー人材センター助成費等でございます。シルバー人材センター運営補助金2,278万円をお願いするものでございます。予算書は195ページ、事業別概要は148ページの上段になります。シルバー人材センターにつきましては、高齢の退職者が今まで培ってこられました技術でありますとか、知見、そういうものを生かしながら就業の機会を得る、そして収入を得られる。また、就労を通して社会とのつながりであ

りますとか、生きがいというものを得ていただくことなどを目的としまして運営をされております。

本補助金につきましては、シルバー人材センターの運営費の経費を補助するものでございます。昨年度より事業費は142万3,000円増加ということになっております。これは昨今の人件費の高騰によりまして事務局経費が増額しておるといふものでございます。シルバー人材センターとしましては、昨今のフリーランス法の施行でありますとか、インボイス制度に係る負担の増、そういったものであります。運営費の経費が高騰しておるといふことで、厳しくなっておるといふことを、お話をいただいております。国の分担していただく経費が頭打ちになっていることからシルバー人材センターにしても請負単価を上げるなどで経費を拮出しているところですが、なかなかそれでも追いつかず、市のほうに補助金の増額をとというようなことでの話をいただいております。これは今後の課題になっていくのかなというふうにお話しております。以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 福山次長。

○福山博俊次長兼企業立地・支援課長 企業立地・支援課、福山です。そうしますと10ページに入ります。10ページの上から4つ目のところです。06商工費の中の商工費、商工業振興費、中小企業勤労者福祉サービスセンター事業費の中の中小企業勤労者福祉サービスセンター運営補助金であります。予算額は909万5,000円です。これは中小企業労働者のための総合的な福利厚生事業を行うことを目的として設立されております中小企業勤労者福祉サービスセンター、通称ひまわりセンターと呼ばれていますが、これの管理運営に要する経費を補助するものです。

このセンターの主な事業としては、中小企業のための健康維持増進事業、それから慶弔共済給付事業、自己啓発事業、余暇事業、その他というふうになっております。あと、この補助対象経費としては、事業費から会費収入等を除いた部分の10分の10ということでありまして。なお、このセンターの会員数ですが、令和5年度末現在ですが、会員数は775社、会員人数が7,389名ということになっております。

続きまして11ページに入ります。11ページの一番上です。商工業振興費の中の中小企業金融対策費の中の制度融資資金であります。予算額は40億3,586万3,000円です。この制度融資については、先ほど2月補正予算の説明の中で申しましたので、詳細は割愛をさせていただきます。協調割合に応じて県の積算に基づいて市の負担分を当初予算に計上しております。

続きましてその3つ下になります。同じく制度融資資金の中の新型コロナウイルス感染症対策の分です。予算額は67億4,801万1,000円になります。これも基本的には制度融資の仕組みの中で、その中の新型コロナウイルス感染症の影響によって売上げが減少した事業者の資金繰りを支援するために県との協調による制度融資、地域経済変動対策資金の中の新型コロナ向け資金、この貸付けを実行した金融機関に対して、融資残高に応じた額を預託するものです。これについても先ほどと同じく県の積算に基づき市の負担分を当初予算に計上しております。

そして、続きましてその下になります。同じく各種金融対策利子補助金（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）ということになります。予算額は2億506万2,000円になります。これは、先ほど説明をいたしました制度融資、これを借り入れる場合の利子相当額を補助すること

によるものです。具体的には令和2年5月から令和3年3月までに融資の申込みを行った中小企業者に無利子で貸付けを行った金融機関に対して、国庫補助終了後2年間又は貸付後5年間の利子0.7%相当額を補助することです。補助割合は県と市で2分の1ずつということになっております。

立地が続きます。続きまして12ページになります。商工業振興費の中の17番企業誘致促進事業費であります。一番上になります。の中の企業誘致推進費です。予算額は7,768万5,000円になります。これは、県外企業に対する誘致活動及び市内企業に対する支援活動に要する経費、具体的には会計年度任用職員2名の人件費、それと誘致活動に係る旅費等が1つ、2つ目に、気高町高浜工業団地内にあります盛土内部の状況調査に要する経費、そして3つ目に、浜村温泉を活用した脱炭素型農業への企業参入を推進するため、農業用温泉配当施設の整備を検討をしております。今年度実施しました周辺への影響調査の結果を踏まえまして、施設の設計を実施することに伴う経費になります。そしてそのほか、今年度ありました若手職員PT、これの提案を踏まえて企業の進出に関する移行調査、これに要する経費等を計上しております。

続きましてその2つ下になります。17番企業誘致促進事業費の中の企業立地促進補助金であります。先ほど2月補正でもございましたが、市内に工場等新增設する企業に対し、投資額に応じた額を補助するものであります。その他財源については地域振興基金繰入金を充当しております。予定件数としては、事業拡大雇用増のメニューに12社、そして情報通信関連企業立地促進補助金、これに12社、そしてオフィス移転・新設支援事業補助金、これに3社を予定しております。

続きましてその2つ下になります。同じく企業誘致促進事業費の中の労働力確保対策企業支援事業費であります。予算額は400万円になります。これは市内企業の人材確保の取組に対する支援の一環として外国籍の専門人材の養成、そして企業とのマッチングを行っております鳥取城北日本語学校の運営を支援しております。これについて、この中で卒業生の市内定着と市内企業の国際化を推進するために、市内企業が卒業生を雇用する場合に負担する費用の一部を補助するものであります。補助対象経費としては、入国前事前研修費、授業料、紹介手数料になります。補助率は1人当たり2分の1、上限が40万円というふうになっております。

続きまして、関連してその下であります。同じく労働力確保対策企業支援事業（重点支援地方交付金）であります。予算額は898万8,000円です。それで、これは、今、御説明しました鳥取城北日本語学校、これの運営に対する支援であります。具体的には教員の人件費5名分の一部を補助するものです。補助率は6分の1となっております。

続きましてその下になります。同じくまちなかビジネス・コミュニティ拠点整備事業費であります。予算額は1億9,223万1,000円になります。これは、事業別概要が162ページの下段ですか、はい。事業別概要つけておりますので、また、御覧いただければと思いますが、この事業ですが、新たな新規事業として取り組むものです。具体的には、中心市街地の再生に向けて、今年度予算において企業誘致、起業創業支援、起こす業ですね、それから働き方改革、転職なき移住、そういったところを柱としますまちなかビジネス・コミュニティ再生プラン、この策定を進めておるところです。そして、このプランを推進するため誘致企業、地元企業、そ

して起業を目指す若者、そして行政、そういった関係者が集まって、交わってつながる場となる新たな拠点施設を整備しようとするものであります。

内訳としては、民間所有物件を改修し、貸しオフィス、会議室、コワーキングスペースなどの機能を備えた施設の整備に係る経費として1億8,004万円、それで、また、当該施設に県外企業を誘致するため、都市部の地域課題解決型企业などに対するプロモーション、マッチング、こういったことに係る経費として1,178万1,000円を計上させていただいております。財源は国の新しい交付金、それから県の補助金、あと、一般補助施設整備等事業債を活用する予定です。

民間所有物件については、これまでの鳥取市中心市街地活性化協議会における検討結果なども踏まえまして、駅北側の現在空いております旧加藤紙店、ここを想定をしております。予算承認後に具体的な協議を所有者等と関係者等と行っていく予定にしております。こういった取組によりまして、鳥取駅周辺再整備と連動し、新たな人の流れを創出することにより、エリアの価値を高めることで民間投資の呼び込みにつなげていきたいというふうに考えておるところです。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼経済・雇用戦略課長 経済・雇用戦略課、渡邊でございます。そうしましたら13ページお開きください。一番上になります。21 商店街にぎわい形成促進事業費の商店街にぎわい形成促進事業費でございます。640万円をお願いするものです。事業別概要は149ページの上段です。これは商店街等の行います販売促進活動や交流活動、イベント等の交流活動、これらの商業振興事業を実施する商店街だとか、各団体等に支援をしていくものでございます。令和7年度の見込みとしましては、事業費が30万円未満の補助率が事業費の5分の4、上限20万というものを1件、それから事業費が30万から120万、こちらは補助率を3分の2、上限60万としておりますが、それが7件、それからまた、事業費が120万円以上、これは補助率が2分の1で補助の上限100万円、これを2件ということでの現在申込みが来ておるといものでございます。

コロナ禍以降、様々なイベントが中心市街地で実施をされておりました、本市としましてもやってやろうという思いのあるような商店街など、そういったところには、できるだけの支援をしていきたいと、そして活性化を促していきたいというふうに考えておるところでございます。財源はふるさと納税基金繰入金を充当させていただくものでございます。

そうしましたらその次、それから1、2、3つ下になります。26 中心市街地活性化推進事業、中心市街地活性化推進事業費補助金でございます。811万円をお願いするものです。事業別概要は149ページの下段になっております。事業は2つに分かれておりました、1つは中心市街地活性化推進事業補助金で、これは中心市街地の活性化だとか、中心市街地の再生に向けて、都市整備部が策定をしております中心市街地活性化基本計画、こちらに基づく事業の実施のための調査や設計の経費を補助するものでございます。補助率は3分の2、上限200万円というものでございますが、令和7年度は令和6年度の予算で実施の見込みがなくなった旧吉田医院の利活用の検討事業、こちら1件200万円を見込んでおるところでございます。

それからもう1つは、まちなか振興ビジネス活性化支援事業補助金でございます。まちなか商店街等がまちなかの地域課題の解決に向けて対応する事業費の一部を補助するものでございます。県の間接補助を受けて事業を実施するというものになっております。補助率は3分の2、上限が600万円という事業でございます。令和7年度は商店街の環境整備事業2件、それから中小企業者の出店促進支援事業1件、こちらの実施を見込んでおるところでございます。財源には先ほど申しましたが、鳥取県のまちなか振興ビジネス活性化支援事業補助金、こちらを305万4,000円充当させていただいて実施するというものでございます。以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 大角室長。

○大角真一郎スマートエネルギータウン推進室長 スマートエネルギータウン推進室、大角でございます。続きまして2つ下になります。41 地域経済活性化促進事業費のスマートエネルギータウン構想推進事業費について説明させていただきます。予算書ページ245ページ、事業別概要が150ページ上段でございます。予算額7億1,722万8,000円を計上させていただくものでございます。説明につきましては、事業別概要で説明させていただきたいと思っております。150ページ上段を御覧ください。電力使用に伴うカーボンニュートラルを先行的に2030年度までに実現する環境省の脱炭素先行地域の取組に係る予算でございます。スマートエネルギーとつとりを昨年12月に設立いたしましたして、この会社が中心となりまして住宅に太陽光発電設備と蓄電池を導入し、高度なエネルギーマネジメント技術で蓄電池などを制御し、効率的に需給調整するエネルギーの地産地消を令和7年度から本格的に展開していきたいと考えておるところでございます。

令和7年度の主な事業でございますけども、まず、小水力発電事業ですが、佐治町の佐治川におきまして、昨年に引き続き流量流速調査、基本設計を行う事業性評価調査業務を行います。業務費は1,000万円、これは新エネルギー財団補助金を活用して行います。事業性評価調査業務を予定としては本年8月まで行いまして、10月から小水力発電事業者の公募、民間資金を活用したPFI事業で行う予定としております。発電事業者選定後、実施設計に着手することとしておりまして、この事業経費に対する交付金2,250万円を計上しておるところでございます。

続いて住宅用PPA事業についてです。住宅用PPA事業ですが、若葉台地区において太陽光発電設備、蓄電池等を導入費用無料で導入し、発電した電気を低価格でサービス料として提供するPPAサービスを取り組む経費を交付金で計上しております。太陽光発電設備ですけども、令和6年度未執行分120件を含みます160件を導入する計画としております。家庭用蓄電池は120件、高効率給湯器エコキュートとかですけども、これを120件導入する計画としております。また、5年度から継続して行っております戸建て住宅断熱改修補助金を10件補助金を計上して支援することとしております。

続いて業務用PPA事業ですけども、これは3施設に太陽光発電設備を導入するといった計画でございます。スマートエネルギーとつとりがこの事業を手がけるということで補助を行う予定としております。続いて野立て太陽光発電事業ですけども、若葉台の遊休地、3.4ヘクタールほどあります遊休地ですけども、そちらに大規模太陽光発電設備と蓄電池の導入を計画しておりまして、令和7年度は設計を実施する計画としております。その経費に対する交付金

892万7,000円を計上しております。続いて産業用工場蓄電池導入でございますけれども、若葉台にあります鳥取メカシステム第一工場に、2月補正でも説明させていただきましたが、令和6年度導入を計画しておりました蓄電池50キロワットアワーの規模になりますけれども、これを導入する計画として交付金を計上しております。

続いて公立鳥取環境大学のZEB化でございますが、情報メディアセンターがございましてそちらをZEB、ネットゼロエネルギービルディングなんですけれども、それをするための熱電改修工事の設計を行う予定としております。また、実験研究棟、経営教育研究棟屋上の太陽光発電設備の導入、本部講義棟の空調設備改修の実施などを計画しておりまして、これらの経費に対して交付金を計上しておるといったところでございます。次にVPP仮想発電所と言っておるものでございます。あと、EMS、エネルギーマネジメントシステムといった構築事業ですけれども、令和7年度はエネルギー中央監視制御システムや蓄電池、給湯器とのVPP連携システムの開発などを行う業務委託料を計上しております。

続いて木質バイオマス熱電供給事業、可能性調査事業でございますけれども、佐治町において木質バイオマス熱電併給設備を導入して、そこでつくられた電気と熱を園芸施設に利用していく計画を策定していくために、施設に必要な熱量や燃料の供給量、生産物の収支シミュレーションなどといった調査を実施する業務委託料を計上しております。この事業は鳥取県の地域資源活用エネルギー導入事業補助金というのがございまして、2分の1補助率なんですけれども、それを活用して行いたいと考えております。

最後ですが、株式会社スマートエネルギーと通りの運営支援補助金を921万3,000円計上しております。この補助金は、住宅用PPAやVPPなど脱炭素先行地域をより一層推進していくために、事業を担うスマートエネルギーと通りの持続的で円滑な運用を行っていくために人件費など運営に要する経費を補助金で支援するものでございます。令和7年度脱炭素先行地域に係る全体事業費としては9億4,500万となりまして、国からの交付金、地域脱炭素移行再エネ推進交付金を6億4,822万7,000円活用しまして、産学金官密に連携してしっかり事業に取り組んでいきたいと考えております。事業の説明は以上です。

◆石田憲太郎分科会長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼経済・雇用戦略課長 経済・雇用戦略課、渡邊でございます。そうしましたらその下です。国際経済交流推進事業でございます。1,482万8,000円をお願いするものです。事業別概要は150ページ下段になります。これは、国際経済交流を推進するため、市長が会長となっておりますが国際経済発展協議会、こちらを平成25年度より設立し、併せてその事務局となります環日本海経済交流センター、こちらをまちパルの2階に設置をしておるところです。こちらのロシア、中国、ベトナム3名のコーディネーターがそちらには配置されておりまして、留学生のインターンシップ事業でありますとか、企業からの相談というものを受けておられます。経費の内訳は、この3人の人件費を含む事務局の経費と事業費、留学生の就労支援でありますとか、情報発信というようなことをやっておりますが、そういったものの経費となります。

令和7年度事業費の主な特徴としましては、今年度11月、先の11月に来庁されましたハノイ市の友好団体連合、こちらとの交流に関する覚書の再締結というものを考えておりまして、

そちらに向けまして現地訪問などを行うように考えております。そのための旅費等事業費の予算を計上しておるといふものでございます。以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 大角室長。

○大角真一郎スマートエネルギータウン推進室長 スマートエネルギータウン推進室、大角でございます。続きまして資料1、14ページをお開きください。上から5番目になりますSDGs未来都市推進事業費でございます。当初予算2,713万3,000円を計上するものでございます。事業別概要は151ページ下段です。予算額2,713万3,000円の予算のうち、財源は国のデジタル田園都市国家構想推進交付金を事業費の2分の1となりますけれども、1,356万7,000円を充てております。一般財源は1,356万6,000円となります。説明につきましては事業別概要のほうで説明させていただきたいと思っております。151ページ下段でございます。

令和3年度に選定されたSDGs未来都市ですけれども、サステナビリティとイノベーションで農村から真に持続可能なまちの実現を最終ゴールとして市民企業、団体などと連携・協働しながら様々な取組を進めてきました。5年目になりますけれども、令和7年度におきましても、このゴールに向けて経済面、社会面、環境面の3側面から新たな価値の創造を図っていく施策を進めていきたいと考えております。

令和7年度の事業内容でございますけれども、まず、経済面の取組といたしまして、再エネを活用した実装農業の育成を推進する取組といたしまして再エネ100%電力を活用したスマート農業モデルを事前調査、実装する経費に支援する再生可能エネルギー活用型スマート農業実装補助金を1件分500万円計上しております。補助率は2分の1です。続いて社会面の取組ですけれども、企業に対しまして地域への継続的な関わりの機会を創出し、関係人口の拡大を図る取組として都市部に在住する企業人材を対象にして、本市の特徴のある環境や人材を生かしたワーケーションプログラムを開発する事業に支援するワーケーションプログラム開発・実施事業支援補助金を1件分100万円計上しております。補助率は2分の1です。

また、積極的に地域外の方と交流し、学び合える環境を構築することで、新たなビジネスや付加価値の創造につなげていくため、本市の地域資源を活用した地域活性化に資する事業を実施する経費を支援する地域資源を活用した地域活性化に資する事業費支援補助金を2件分200万円計上しております。補助率は2分の1です。続いて環境面の取組ですけれども、エネルギーの地産地消により生み出される電力の活用や持続可能なまちづくりを形成するために行います市民サービスの向上につながる実証に係る経費を支援するエネルギー地産地消まちづくり実証運営支援補助金を4件分の400万円計上しております。補助率は2分の1です。また、2030年代以降、大量廃棄が想定され、今から取り組んでいく必要のあります太陽光パネルリサイクルの取組を推進していくために、昨年度創設しました太陽光パネルリサイクル材の利活用策を促していく太陽光パネルリサイクル推進事業補助金を引き続き2件分400万円計上しております。補助率は3分の1です。

次に総合的取組でございますが、SDGs未来都市プロジェクト推進協議会運営経費として会計年度任用職員人件費1名分と事務費に315万2,000円を計上しております。また、SDGs未来都市情報発信など行うため798万1,000円計上しております。中身といたしましては、

プロモーション情報発信に係る業務費 300 万円、プロモーション活動支援補助金 3 件分の 300 万円、啓発用パンフレットの作成など計上しておりまして情報発信に力を入れていく予算を計上しております。本事業の説明は以上です。

◆石田憲太郎分科会長 福山次長。

○福山博俊次長兼企業立地・支援課長 企業立地・支援課、福山です。続きまして 15 ページに入ります。15 ページの一番上になります。同じく地域経済活性化促進事業の中の再エネ・省エネ設備導入事業費であります。（重点支援地方交付金）であります。予算額は 5,000 万円になります。これは、先ほど補正予算の中でも少し説明しましたが、改めまして、これの取組ですが、市内の中小製造業者によるエネルギーコストの削減やCO2削減の取組を支援するものであります。具体的には、鳥取市内において1年以上事業を営んでいる中小製造業者に対しまして、再エネ設備等の新增設、例えば太陽光発電であるとか、蓄電池、あるいはLED、そういったものです。そういったものの新增設、あるいは更新、こういったことに係る経費を補助するものであります。補助率は3分の1、上限は500万に設定しております。こういった取組によりまして、製造業における再エネ・省エネ設備の導入を促進することによってエネルギー使用量、それからコストの低減を図ることで中小企業者などの負担軽減、それと併せて地域全体のCO2排出量の削減につなげていきたいというふうに考えておるところです。

続きましてその下にあります。同じく地域経済活性化促進事業の中のデジタル人材育成・活用プログラム実践事業費になります。これも新規に取組を行いたいというものであります。予算額は1,593万円です。これは資料4の5ページのところに資料つけておりますので、それを御覧いただきながら聞いていただければと思います。改めまして、鳥取市の人材育成確保の取組の一環として都市部を中心にデジタルスキルを持つ人材が不足している状況を踏まえまして、リモートワークを希望する市民などを対象に、デジタルスキルを学ぶ機会の提供、あるいは習得したスキルを生かすことのできる就職先をマッチングする人材育成プログラムを構築するものです。

事業の内容としては、デジタル人材プログラムの構築、そして、2つ目に県外企業人材を対象とした地域課題解決プログラムの実施、3つ目に拠点（サテライトオフィス）拠点の誘致活動、そして4つ目に地元企業向けリモート人材活用セミナーの実施、そういったことを想定をしております。財源の一部には国の次世代交付金を活用する予定です。こうした取組によりまして、リモートワークにより地方に居住しながら都市部の企業で働くモデルを構築・普及することによりまして、定住人口の確保につなげるとともに、地域のIT人材を育成していくことで、企業誘致、あるいは地元企業の成長につなげていきたいと考えておるところです。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼経済・雇用戦略課長 続きまして次のページ16ページをお開きくださいませ。42雇用対策事業費のうち、16ページの上の2つは人材確保推進事業費になっております。予算及び事業別概要は153ページの上段と下段に分かれております。下段につきましては、国の重点支援地方交付金を活用している事業となります。まず、上のほうでございますが、人材確保

推進事業については、予算額1,019万9,000円を計上しております。内容としましては、地元企業の人材確保補助金としまして、企業のPR動画の制作や就職イベント、そういったものへの参加を支援するという事で20万円を計上させていただいております。それから、中小企業等奨学金返済支援事業補助金でございます。これは、企業が人材確保を図るために従業員の奨学金返済を支援する、そういった事業をつくられている事業者に、その支援額の2分の1を支援するというもので48万円の予算を計上させていただいております。

もう1つは、労働局と雇用対策協定を結んでおりまして、そちらの協定の推進に係る事業、例えば障がい者の就職面接会、それから介護分野への就職相談会、そういったものの開催、それからお母さんの再就職に向けたセミナーの開催、そういったものなどの経費50万2,000円、そのほか事務経費を計上させていただいております。下のほうの重点支援地方交付金を活用した人材確保促進事業につきましては、予算額は140万円を計上しております。こちらにつきましては、資料4の3ページをお開きいただきたいと思います。資料4、3ページの左側でございます。人材確保推進事業（重点支援地方創生臨時交付金）でございます。これは、人材確保が難しくなっておる現状におきまして、生産性の向上を図るための1つの手段として、アウトソーシングできる業務はリモートワーカー等を活用して業務を改善していくということ、そういったことに支援するものでございます。

内容は1とありますが、こちらは県や市の、市で言うと男女共同参画課が実施しておりますが、リモートワーカーの育成事業、そういったもので育成された人材を活用される、そういったことに必要な経費を支援するものでございます。そちらに90万円、それから内容2としましては、鳥取市は株式会社LASSIC、それから鳥取銀行、この3者でリモート人材の活用に関する協定というものを結んでおります。その協定に基づいて行うセミナーの実施に係る経費、こちらに50万円を計上しております。財源は全て国の重点支援地方創生臨時交付金を充当しておるものでございます。

そうしましたら資料の3にお戻りくださいませ。資料の3、43働き方改革推進事業費でございます。こちらのほうも、働き方改革推進事業と国の重点支援地方交付金を活用した働き方改革推進事業費の2つに分かれておるものです。事業別概要は154ページの上段と下段ということになります。まず、上のほうの働き方改革推進事業費につきましては、予算額108万円を計上しております。事業内容としましては、企業のDXの推進を啓発していくためのセミナー、そういったものに90万円を考えております。セミナーは、今年度考えておりますのはAIの活用による業務の効率化を推進していくことを考えております。また、そのセミナーと併せてワークショップ、こういったものも考えておりまして、少しでも実践に近づけるようなものにしていくということを考えております。残りは事務経費となります。

そして、下のほうの重点支援地方交付金を活用した働き方改革推進事業費は、予算額を166万円計上しておるところでございます。資料は4の3をお開きくださいませ。資料4の3ページでございます。右側のほうに書いてございます。これは、人材確保が難しくなる中で、人材育成や生産性の向上によって業務の効率化、それは企業が将来にわたりまして発展する上でかせがない取組ということが言えると思います。このため、内容1としましては、鳥取市の

中小企業の人材育成補助金ということで、業務上必要な能力でありますとか技術、そういったものの向上やリスキング等での新技術の取得、習得、そういったものに要する経費を支援するもので100万円を計上しております。

内容2としましては、働き方改革のセミナーを開催することに要する経費、こちらに66万円を計上しております。具体的なセミナーの内容は今後決めていくこととしておりますが、例えば生産性を向上させてワークライフバランスの向上でありますとかに資するもの、そういったものや、例えばジェンダー、平等やアンコンシャス・バイアスの意識改革、そういったものを促して、誰もが働きやすい職場環境を構築する、そういったようなセミナーを開催したいなどというふうに考えております。こちらのほうも、財源は全て国の重点支援地方創生臨時交付金を充当させていただいております。

そうしましたら資料3にお戻りください。資料3、17ページをお開きください。17ページが一番上でございます。46 伝統産業等支援事業費でございます。の中のかみんぐさじ管理事業費でございます。1,614万2,000円を計上しております。事業別概要は155ページの下段になります。本事業はかみんぐさじ、佐治町にありますかみんぐさじの管理運営に関する経費、指定管理料でありますとか、施設の修繕費、それから除雪費、土地の賃借料費、それから備品の購入、そういったものに要する経費でございますが、この経費につきましては、前年度に比較しまして倍近くの経費が増額というふうになっております。増額分につきましては、施設の修繕に係る経費でございます、キュービクルの腐食修繕、それから駐車場にあります外灯、こちららも腐食して倒れそうだというようなことを言っておられますので、そちらの撤去、それから和紙工場の中が暗いということで、そちらをLED化をしていくというもの、それからそのほかの修繕に93万7,000円計上させていただいております。

また、佐治ということで、エアコンがない施設でしたけれども、和紙工場の中がかなり暑いということで、エアコンを設置していくということでエアコンの設置に関する経費、こちらに624万3,000円、そういったことがかかります。施設の老朽化に伴う改修の経費が多くかかっているということでございます。財源には、過疎対策事業債620万円、それから国の重点支援地方創生臨時交付金、これを34万9,000円、それから駐車場などの使用料1万6,000円を充当させていただいております。

そしてその下です。あおや和紙工房管理事業費2,264万1,000円を計上させていただいております。事業別概要は156ページの上段となります。本事業は、あおや和紙工房の管理運営に関する経費、こちらのほうも指定管理料、それから、あおやの和紙工房の企画展開催委託費、それから備品の購入等に要する経費というものでございます。こちらの経費につきましても、昨年度から約400万円の増額というふうになっております。増額部分につきましては、備品購入に係る経費で和紙体験工房の中の冷蔵庫でありますとか、製氷機、こちらの更新に係る経費となります。要望いただいている修繕に係る経費、改修箇所というものは、ほかにもたくさんいただいておりますが、こちらは次年度以降の計画的な修繕、改修にさせていただきたいと考えております。財源には、過疎対策事業債560万円、それから国の重点支援地方創生臨時交付金、これ113万7,000円、それから駐車場などの使用料、こち

らを1万2,000円充当させていただくものでございます。

次でございます。4つ下になります。54新規創業支援事業費、ふるさと起業家支援プロジェクト事業費254万2,000円の計上をさせていただいております。事業別概要は156ページの下段になります。この事業は起業創業に係る企業の支援でございます。この中の2つのメニューがございまして、1つは、ふるさと起業家支援プロジェクト補助金、現状100万円の計上をさせていただいております。市が認定した起業創業者、こちらにクラウドファンディング型のふるさと納税制度を活用して、地域外から資金調達を進めるとともに、市としてもこれに上乗せをして支援を行うものでございます。補助率は歳入科目にありますクラウドファンディング型のふるさと納税で調達した額は10分の10、全額支援してきます。さらに、市による上乗せとして補助率は補助対象事業費の2分の1、上限100万円、またはクラウドファンディングで調達した資金額を超えない額、どちらかで支援を行います。市の一般財源のほうは事業認定の補助額が確定された後に、補正予算計上させていただくということにしておるところでございます。

もう1つの事業は、伴走型スタートアップ支援補助金でございます。150万円を計上しております。こちらは比較的小規模な起業でありますとか、創業について商工会議所でありますとか、商工会、そういった経済団体の支援機関の伴走支援を受けながら事業を継続していただくということを条件としまして、起業創業初期の経費を支援してまいるものです。昨年度の新規事業として計上をしておりましたが、想定をしていた以上に多くの申込みがありまして、昨年度より事業数を、昨年は5件でしたけど、15件まで増やして予算計上させていただいております。補助率は2分の1、10万円が上限というものでございます。以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 福山次長。

○福山博俊次長兼企業立地・支援課長 企業立地・支援課、福山です。続きまして18ページをお開き下さい。18ページの上から5番目になります。56番県産業振興機構事業支援事業費の中の県産業振興機構貸付金であります。予算額は2億5,397万3,000円です。これは平成14年、当時の新産業創造センターの解散に伴いまして、鳥取県産業振興機構がこの同センターの行っておりまして、具体的には研究開発、産業支援、施設賃貸、こういったものですが、こういったセンター事業を引き継ぐに当たりまして、同センターの土地・建物等の資産取得のための財源を県市で貸付けをしております。機構は施設管理事業、これ、自主事業ですが、これの収支差額をもって毎年、県市に返済をしております。それで、不足する財源を県市で単年度ごとに貸し付けることに伴うものです。機構は、前年度末に県市に貸付金を返還するために金融機関から借入れをします。そして翌年度当初に県市から貸付けを受けて、それを金融機関に返済するというサイクルを繰り返しております。ということで少しずつこの貸付金の金額は減っていくという仕組みになっております。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼経済・雇用戦略課長 そうしましたらその2つ下になります。57物産振興事業費、物産振興体制強化事業費でございます。2,177万2,000円を計上しております。事業別概

要は157ページ下段になります。これは、本市の物産振興を推進するに当たりまして、様々な事業で連携をしております鳥取市の観光コンベンション協会の物産部門の業務を支援していくものでございます。補助の内容としましては大きく2つございまして、1つは、協会が運営をしておりますまちパル1階にございますふるさと物産館、こちらでの販売支援、それから県外の物産展への出店等、そういったことをしていただいているものの支援でございます。そちらに921万円でございます。この額は、昨今の人件費の高騰ということによりまして増額となっております。昨年より40万円ほど増額になっておるところでございます。

そしてもう1つは、インターネットショップとっとり市の運営支援でございまして1,256万2,000円になります。とっとり市は本市のよいもの、それから特産品、こういったものを全国の皆さんに知っていただきたいということ、また、この地域で商売をされている方々の販路開拓、そういったことに一役買いたいと、こういった思いで平成23年に開設し、事業を推進してまいりました。令和6年度、今年度ですけれども、令和6年度から観光コンベンション協会に事業を移管して実施をしていただいております。このとっとり市の運営に係る経費の補助ということになります。観光コンベンション協会に移管しましたとっとり市、今年度1月末までの売上は約6,819万円になっておりまして、昨年度の同月までと比較したところ、約94%ぐらいの売上ということになっています。昨年度より若干売上げが落ちているというように感じますが、実は、昨年度は1月から国の交付金を活用させていただいた販促キャンペーンを行って、1月の売上げがかなり伸びたということもございまして、そのキャンペーンでの売上げ伸びた分を差し引くと100%にかなり近い、100%をちょっと超えるというようなことになるようですので、売上げに関しましては引き続き順調に進んでいるのかなというふうに思っております。今年度、越境EC、そういったものの対応に関しましては支援をしておりますし、今後も協会と連携してとっとり市、盛り上げていきたいなというふうに考えておるところでございます。

続きましてその2つ下になります。こちら物産振興体制強化事業費でございます。ただ、こちらは括弧としまして重点支援地方交付金を使わせていただいております。2,265万4,000円を計上するものでございます。これは物価高騰などで厳しい状況にあります市内の物産販売事業者に対して、とっとり市で各種キャンペーンを実施することで売上げを向上させ、そちらが支援になればというふうに考えておるものでございます。詳細は資料4の4ページにありますので、そちらを御覧いただきたいと思います。とっとり市のキャンペーンでございます。事業はとっとり市を運営します観光コンベンション協会に事業を委託するもので、今年度導入する越境EC等の活用促進にも寄与するものではないかというふうに考えております。

事業内容としましては、5月から6月の期間にかけまして越境ECのサイトを導入されたということで、サイトのリニューアルキャンペーン、それから6月、8月にかけては、お中元の夏ギフトキャンペーン、10月から12月にはお歳暮の冬ギフトキャンペーンということ。それから5月、9月の期間には関西万博記念割引キャンペーンというようなことも併せて並行してやっていきたいというふうに考えておりますし、11月、12月には、本市がやっておりますが、鳥取市の食ブランドということで知名度を上げていきたい、ブランド力を上げていきたいということで様々な研究をしておるところでございますが、そういったものの対象商品のキャ

ンペーンをしていきたいというふうに考えております。

このように年間を通して様々なキャンペーンを企画しておりまして、このキャンペーンにおける売上げは合計で6,200万円を見込んでおります。物産販売事業者の一助になるということとともに、とっとり市の新たな登録者増加というものに寄与するものと考えておるところでございます。今後は4月から5月におきまして越境ECを含めた新システムの安定稼働を確認した上で各種のキャンペーンを行っていくということを考えておるところでございます。説明は以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課、平井です。そうしますと資料のほうの19ページお願いいたします。19ページが一番下になりますけれども、周遊観光促進事業費（重点支援地方交付金）、予算額が2,859万円となります。こちらは外国人観光客を対象に本市の主要観光スポットなどを巡る周遊観光タクシー、こちら3時間1台4,000円の運行ということですが、こちらの運行により、インバウンドの誘客と周遊促進を図るため、通常料金との差額分を予算の範囲内で支援するものとしております。予算上限の運行台数については3,100台分、運行主体としては鳥取ハイヤー協同組合を予定しているところでございます。財源といたしましては重点支援地方交付金1,429万5,000円、鳥取県二次交通運行支援補助金1,429万5,000円を充当しております。

はぐっていただきまして20ページ下から2つ目、大阪・関西万博誘客アクション事業費でございます。予算額が1,348万3,000円、事業別概要が168ページの下段でございます。本年4月から開催されます大阪・関西万博に合わせまして、主に鳥取県などと連携をいたしまして、万博会場における観光PRブースの開設やイベント開催に係る伝統芸能等の派遣に301万3,000円、それからノベルティ、観光パンフレット等、会場で使用しますこのパンフレット、ノベルティの作成などに956万8,000円を計上しております。また、昨年9月に補正予算を議決いただきました名探偵コナンのミステリーツアー、こういったこと取組なども併せて万博から本市への観光誘客を図っていきたいというものでございます。財源といたしましてはふるさと納税基金繰入金90万2,000円、新しい地方経済・生活環境創生交付金629万円を充当しております。

続きまして21ページが一番上になります。観光協会等補助金でございます。予算額が6,274万8,000円、事業別概要169ページ下段でございます。こちらは鳥取市観光コンベンション協会の職員人件費の処遇改善に要する経費を含む運営補助金として5,000万円、さらに、アクセスのほうが増加しております鳥取市観光サイトの多言語化に係る補助金といたしまして1,274万8,000円を計上しております。本市の観光案内や情報発信、ガイドの育成など観光コンベンション協会によります観光振興事業と組織の円滑な運営を下支えしていきたいというものでございます。ふるさと納税基金繰入金5,000万円、新しい地方経済・生活環境創生交付金637万4,000円を充当しております。

続きましてその3つ下でございます。ループバス運行支援助成費、予算額が1,197万4,000円、事業別概要が170ページの上段でございます。先ほどの報告をさせていただいた案件に関

連しますけれども、4月からの新たなルート、運賃で運行を予定しておりますループ麒麟獅子、こちらの運行委託費といたしまして585万3,000円、それからI C O C Aのシステム導入に係る経費といたしまして543万5,000円、バスの位置情報がリアルタイムで分かるバスロケーションシステム、バスキタ！のシステム補修、データ更新費といたしまして68万6,000円を計上するものでございます。財源ですけれども、ふるさと納税基金繰入金520万円、新しい地方経済・生活環境創生交付金271万8,000円、デジタル活用推進事業債270万円を充当しております。

続きまして、ページをはぐっていただきまして22ページ上から2つ目でございます。観光地施設整備事業費、予算額2,978万1,000円、事業別概要が171ページの上段でございます。こちらの事業費は、主に市内の観光施設、遊歩道等の管理や清掃業務、修繕などを実施する事業でございまして、各総合支所地域の観光施設や遊歩道などの維持管理、清掃、修繕などを行っているものでございます。前年度からの予算額の増額に関しては、令和5年の台風被害からの復旧を進めております雨滝につきまして、被災したトイレを現在の滝側にあるトイレから駐車場側に移設をして新築するためのボーリング調査、設計費に係る経費を地元自治会への補助金として1,998万4,000円計上したことによるものでございます。トイレの完成は令和8年度を予定しております。財源ですけれども、観光施設使用料43万1,000円、鳥取県自然環境整備交付金137万9,000円、辺地対策事業債1,990万円を充当しております。

続きましてその下でございます。砂の美術館管理運営費、予算額が5,061万5,000円でございます。事業別概要171ページの下段でございます。砂の美術館の管理運営に係る経費といたしまして施設の空調設備の更新、こちらに647万1,000円、それから砂像の制作に使用します砂のふるいや新たな砂の確保に係る地質調査に767万7,000円、総合プロデュース業務3,300万円、展望駐車場借り上げ料、エアコンの賃借料などが主な計上科目となります。16期展示の砂で世界旅行日本編ですけれども、4月25日から翌年1月4日の会期の開催という、それに対応した予算となっておりますけれども、制作に関しては来月から本格的に行う予定としております。砂の美術館固定納付金4,421万5,000円、過疎対策事業債640万円を充当しております。

続きまして23ページの上から3つ目になります。広域観光開拓推進事業費でございます。予算額5,248万8,000円、事業別概要は173ページ下段でございます。こちらはDMO麒麟のまち観光局が取り組みます麒麟のまち圏域の周遊促進、インバウンド向けのプロモーション活動、観光DXの推進といった事業を支援するものでございます。併せて運営負担金として、組織の運営を下支えをする経費が3,350万円、公益事業といたしまして圏域のファンづくりサイト、このへん共和国をプラットフォームとします観光DXの推進やロカール鉄道、J T R w e bなどを活用したインバウンド誘客向けの広域周遊ルートセット商品の造成販売、それからアンケート等のマーケティング分析、こういったものを行う公益事業の負担金として1,898万8,000円を予算計上するもので、6町と一緒にその活動を支援するものでございます。財源はふるさと納税基金繰入金3,606万円を充当しております。

続きましてその下でございます。観光産業育成支援事業費重点支援地方交付金でございます。予算額が500万円、事業別概要174ページの上段でございます。観光事業者等が取り組む施設の整備、改修、それから受入れ環境の整備や誘客広報・宣伝活動等に対する支援を行うもので

ございまして、観光産業の育成や観光振興を図るための本市の支援制度となります。こちら全額重点支援地方交付金を充当しております。

続きまして24ページ、はぐっていただきまして一番上でございます。まちなか観光推進事業費でございます。予算額が2,438万9,000円、事業別概要175ページの上段でございます。こちら復元整備が進む史跡鳥取城跡周辺の観光振興を図るため、城跡の渡櫓等へのライトアップ器具の追加に417万4,000円、観光コンベンション協会によりますナイトマルシェなどの開催に291万3,000円、昨年実証事業を行いました商店街エリアの魅力化賑わい創出の照明演出等の追加とイベントの開催に1,263万9,000円、それから城跡周辺駐車場満空情報システムの管理費として312万1,000円などが主な内訳となっております。年間を通じた集客や観光スポットとしての拠点化を図り、城跡を中心にまちなかの賑わい創出を図っていききたいというふうに考えております。税源はふるさと納税基金繰入金466万2,000円、新しい地方経済生活環境創生交付金986万4,000円を充当しております。説明以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 大角室長。

○大角真一郎スマートエネルギータウン推進室長 スマートエネルギータウン推進室、大角です。当初予算の説明は以上でございまして、続いて債務負担の説明に入りたいと思います。資料3、25ページでございます。株式会社スマートエネルギーとっとり、借入金の損失補償についてです。予算書は15ページ、事業別概要は298ページになります。本市が事業主体となって取り組みます脱炭素先行地域をより一層推進するために本市が筆頭株主となりまして、第3セクターであります株式会社スマートエネルギーとつとりを昨年12月に設立したところでございますけれども、令和7年度から本格的に脱炭素先行地域の住宅用PPA電力サービスでありますとか、業務用PPA電力サービス、あと、大規模太陽光発電事業を取り組むこととしております。

令和7年度は、これら事業に6億2,000万円の設備導入費を見込んでおりまして、環境省の地域脱炭素移行再エネ振興交付金3億9,229万円を活用して、残りの2億2,757万7,000円がスマートエネルギーとつとりの負担する投資額となります。この部分の損失を補償することで融資など事業の円滑な実施を図り、着実に事業を進めていきたいと考えるため、債務負担を上げさせていただいたところでございます。当該事業の説明は以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 福山次長。

○福山博俊次長兼企業立地・支援課長 起業立地・支援課福山です。続きましてその下になります。鳥取市土地開発公社借入金の損失補償についてであります。これについてはその限度額のとこに記載をしておりますが、鳥取市土地開発公社が若葉台新工業団地、あるいは河原町布袋工業団地、山手工業団地、こういった工業団地を取得造成し、管理するために金融機関等から借入れを行っております。また、併せて平成16年市町村合併に伴い解散する旧河原町土地開発公社、これが保有しておりました資産を取得するために金融機関から借入れを行っております。これが合わせて63億2,750万になっております。借入れに対する利子相当額がでございます。この合計額を限度として債務負担行為として保証を行なおうとするものであります。

債務負担行為の説明については以上ですが、大変申し訳ありません。先ほど私が当初予算の説明の中で、1点間違えがありましたので訂正をさせていただきます。企業立地促進補助金で

あります。資料としては12ページの中ほどにありましたものです。事業別概要としては161ページの上段になります。先ほど私が説明の中で予定件数ということで、それぞれメニューごとに説明をさせていただきましたが、私が先ほど説明した数は年間の想定分ということで、実際にこの当初予算の積算に当たっては、財政担当課との協議の中で上半期分を計上をするということになっておりました。

したがって、先ほど申しましたところでいきますと、この事業別概要でいきますと①の部分、通常メニュー、雇用増メニューの部分ですが、これが12社と申し上げましたのが9社です。12社が、9社が正しいということです。それからその下の所得向上メニューについては、これは今のところ予定はなしということであります。そして3番目、③の情報通信関連企業立地促進補助金、先ほどの説明で12社想定ということをお申しましたが、予算計上は3社想定をしております。それから最後のオフィス移転新設支援事業補助金、これについては先ほど説明したとおり3社で変わりありません。大変申し訳ありませんが、訂正させていただきます。以上です。

◆石田憲太郎分科会長 ただいま執行部より説明をいただきました。委員の皆様で聞き取りにくかった点、用語の確認等がある方は挙手願います。中山副委員長。

◆中山明保分科会副会長 すみません。さっき言われた事業概要書の161ページの、もう1遍何社というのを言ってもらえませんか。

◆石田憲太郎分科会長 福山次長。

○福山博俊次長兼企業立地・支援課長 起業立地・支援課福山です。上から行きます。事業内容のところの①番通常メニューが9社、その下、②の所得向上メニューが、これは予定はなしということでゼロ。その下、③情報通信関連企業立地促進補助金、これが3社、そしてその下のオフィス移転・新築支援補助金、これが3社ということになります。大変申し訳ありませんでした。

◆石田憲太郎分科会長 そのほかございますか。それでは次に移ります。

議案第13号令和7年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算について（説明）

議案第13号令和7年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算を議題とします。執行部より説明をお願いします。渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼経済・雇用戦略課長 経済・雇用戦略課、渡邊でございます。そうしましたら資料3、26ページをおはぐりくださいませ。議案第13号令和7年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算について御説明をさせていただきたいと思っております。まず、歳入でございます。本特別会計の卸売市場の歳入におきましては、大半を占めておるのが市場の使用料というものになります。まず、卸売市場施設の使用料でございます。2つの項目がございます、1つは卸売りの事業者の取扱高による使用料で1,438万3,000円、もう1つは卸売市場の場内に事務所等を構えておられます事業者等の専有面積による土地・建物の使用料で、こちらは4,060万7,000円、合計5,499万円がございます。昨年度より1,866万9,000円の増額となっておりますところでございますが、これは施設の専有面積による使用料が昨年度より大きく増収と

なる予定です。これは新たに新設をさせていただきました青果棟等に入居いただく事業者より、新価格で施設を使用していただくということになりまして、使用料が増額するというためのものでございます。

次は荷さばき場の面積による使用料でございます。121万9,000円でございます。昨年度より166万5,000円の減額となります。新施設につきましては、荷さばき場としての使用料はいただくこととしておりません。施設の使用料の中に内包しておるという形になるかなというふうに考えております。したがって、新たに新設した施設に入る卸売業者等や関係事業者等は事業者等からの荷さばき場の使用料というものをいただかないということになります。

続きまして一般会計へ繰入金は歳出で説明をさせていただきたいと思っておりますが、市場の再整備に係る経費としまして、例えば下水道へ接続するための下水道分担金でありますとか、工事後の工損調査、そちらに係る費用でありますとか、また、臨時交付金を活用した省エネ設備の設置、こちらに関する補助事業へ充当するため、一般会計から繰入れをさせていただいた金額5,846万1,000円でございます。一番下の土地貸付料でございますが、令和7年度12月からは自由提案用地ということで、株式会社サンマート様がセントラルキッチンを整備するというために、用地を事業用定期借地として貸し付ける金額としまして54万8,000円でございます。そのほか、会議室の使用料でありますとか、市場保証金の利息等を加えまして公設地方卸市場事業費特別会計の歳入合計は1億1,529万3,000円ということになります。

次は歳出でございます。おはぐりいただきたいと思っております。27ページでございます。上から御説明させていただきます。公設地方卸市場運営費、運営審議会委員報酬、13名の委員、年2回ということの開催予定としておりまして、茶菓代と合わせて18万6,000円になります。その下、管理運営費、全国でございますが、全国卸売市場協会への参加のための出張旅費や火災保険料、そちらで917万6,000円でございます。大幅な増額となっておりますが、新施設の整備に伴いまして、火災保険料がほぼ2倍の38万2,000円になったこと、それから令和7年度のみ支出となりますが、下水道の分担金、こちらが866万6,000円必要となるということでの増額になります。

その下です。業務委託費でございます。5,031万2,000円となりまして、こちらでも大幅な増額となります。内容は指定管理料2,742万6,000円、それから除雪費61万2,000円、これは昨年と変わってはおりません。ほとんど変わってはおりません。これに加えて、工事後の工損調査、周辺環境影響調査でございますが、こちらに係る経費、こちらを2,227万4,000円計上させていただいておること増額となったものでございます。その下、全国公設地方卸売市場協会負担金3万円、それから公課費といたしまして185万円、それから施設整備費、これは重点支援地方交付金を使わせていただいております。2,000万円計上をしております。これは市場の事業者が実施いたしますエネルギー価格の高騰に対して対策するための省エネ設備の設備導入、そういったものに支援するもので、詳細を資料4の6ページに掲載しておりますのでそちらを御覧くださいませ。施設整備費、省エネルギー化等緊急対策支援事業でございます。市場の事業者につきましては、物価高、エネルギー高騰、そういったものによりまして販管費が増大しておるといところでございます。それに加えて、市場の再整備事業により新施

設での営業ということで、新たな設備の投資というものも必要になってきておるというところで、かなり金額、販管費等が増えて増額しておるというところでございます。

このような中、内閣府のほうから、まず、重点支援地方交付金の追加というものの通知がありました。それで公設地方卸売市場など支援する農林水産省からもその通知を受けまして、同様のものが発出されておまして、その中には特別高圧で充電してエネルギー価格高騰の影響を受ける事業者への支援ということが明記されております。新施設におけるその中小事業者の中には卸売市場等というふうにも書いてございまして、新施設における水産と青果棟の卸売業者に関しましては、特別高圧を利用しております。このたびの本市の支援にはこの国の方針を受けて呼応した事業ということになっておるとかなというふうにご考えておるところでございます。

事業の内容は、事業対象者を協同組合、鳥取総合食品卸売市場、いわゆる市場組合、そちらが中心となって実施していただきたいということでありますが、太陽光発電等の電気設備の整備に対して支援するもので、補助率3分の1、上限2,000万円ということで見込んでおります。左のイメージ図で言えば、オレンジの点線、こちらで囲んである②再エネ脱炭素事業部分でございます。青果棟が完成された後に市場全体での電気使用料などを確認しながら事業規模等は固まってくるものと考えておるところでございます。この事業の説明は以上です。

資料3、27ページのほうへお戻りいただきたいと思っております。施設整備費の下です。予備費としましては10万円でございます。おはぐりいただきまして28ページ、長期借入金元金償還金245万5,000円、それから長期借入金利子償還金2,653万1,000円でございます。この利子償還金につきましては、昨年度より2,028万5,000円の増額となります。これは市場再整備事業におきまして、令和6年度の起債の利子償還が令和7年度から始まるということで、そちらの分が増えるための増額となります。元本につきましては5年間据え置きということで償還が始まります。

最後に公設地方卸売市場事業基金積立金465万3,000円でございます。歳入から歳出を差し引いた額を基金に繰り入れて積み立てていくということでございます。以上、公設地方卸売市場事業費特別会計歳出の合計は1億1,529万3,000円となります。なお、市場の再整備に係る工事費の経費は、先ほど令和6年度の2月補正予算として計上しております。そちらを全額繰越して実施しますので、令和7年度の当初予算、こちらのほうには計上されていません。以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 ただいま執行部より説明をいただきました。委員の皆様、聞き取りにくかった点、用語の確認がある方は挙手願います。ございませんか。ないようでありますので次。渡邊次長。

○渡邊大輔次長兼経済・雇用戦略課長 失礼しました。1点説明間違っておったところがございます。新しい水産棟、青果棟、特別高圧といいましたが、特別高圧ではございません。高圧でございます。以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 よろしいですかね。はい。

議案第19号令和7年度鳥取市温泉事業費特別会計予算について（説明）

◆石田憲太郎分科会長 それでは次に移りたいと思います。議案第19号令和7年度鳥取市温泉事業費特別会計予算を議題といたします。では、執行部より説明をお願いいたします。平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課、平井です。そうしますと委員会資料の30ページお願いいたします。初めに歳入でございます。予算額が4,551万6,000円でございます。内訳ですけれども、温泉配湯負担金165万円、それから温泉使用料の現年度調定分と滞納繰越分、こちらを合わせて4,382万1,000円、基金積立金利子3万5,000円、前年度繰越金1万円という内訳となります。

続きまして31ページのほうの歳出でございます。初めに維持管理費でございます。予算額が3,260万8,000円でございます。事業別概要は330ページの下段、こちらは鹿野温泉、浜村温泉の配湯を利用する家庭や施設に供給するために必要となります温泉施設設備の点検、修繕など維持管理に要する経費が主なものとなります。その内訳といたしましては、設備の維持管理等を行う職員の人件費、こちらが333万8,000円、配湯所、源泉施設等の光熱水費が1,285万9,000円、それから設備の修繕費723万5,000円、源泉ポンプ、これは備品ですけど、備品の購入として源泉ポンプの購入費に233万2,000円などが主な内容となっております。こちらの財源は全額温泉使用料を充当しております。

その下でございますけれども、温泉事業基金積立金でございます。予算額が1,289万8,000円、事業別概要331ページの上段でございます。こちらは基金の繰替え運用で発生する利息、それから歳入から維持管理費を差し引いた額を積立金として積み立てるものでございます。財源ですけれども、温泉配湯負担金165万円、温泉使用料1,120万3,000円、温泉事業積立金利子3万5,000円、前年度繰越金1万円を充当しております。それから予備費といたしまして1万円を要求させていただくものでございます。簡単ですけど以上でございます。

◆石田憲太郎分科会長 ただいま説明をいただきました。それでは委員の皆様、聞き取りにくかった点、用語の確認がある方は挙手願います。ないようでありますので、次に移ります。

#### 議案第20号令和7年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算について（説明）

◆石田憲太郎分科会長 それでは、議案第20号令和7年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算を議題といたします。執行部より説明をお願いします。平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 観光・ジオパーク推進課、平井です。そうしますと委員会資料の32ページ、33ページを御覧いただけたらと思います。初めに32ページの歳入でございます。予算額が1,833万9,000円でございます。内訳は一般会計からの繰入金1,783万9,000円とその他利用料としてふるさと鹿野の利益還元金50万円、こちらが内訳となります。

次の33ページの歳出のほうに移りたいと思います。初めに観光施設管理費でございます。予算額が797万3,000円、事業別概要が331ページの下段、こちらは気高町の遊漁センターの指定管理料696万3,000円、それからその施設の修繕や火災保険料に対応する経費として101万円、こちらが主な内訳となっております。なお、来年度はこの指定管理料については新たな指定管理者による運営が行われる予定となっております。

続きましてその下の温泉施設管理費でございます。予算額が1,005万7,000円でございます。

事業別概要が332ページの上段でございます。こちらは鹿野温泉館の老朽化したサウナ設備の更新770万円をはじめとしまして、山紫苑、浜村温泉館を含めました3施設の維持管理に要する経費、火災保険料とか、保守点検に係るような経費でございます。その他利用料としてふるさと鹿野の利益還元金50万円を充当しております。

その下でございます。長期借入金利子償還金でございます。予算額29万9,000円でございます。こちらは令和5年度と6年度に実施をしました山紫苑、それから鹿野温泉館の修繕に係る起債の利子償還金ということになります。それから1番下の予備費、こちらが予算額1万円ということでトータル歳出予算1,833万9,000円を計上するものでございます。説明は以上でございます。

- ◆石田憲太郎分科会長 ただいま説明をいただきました。それでは委員の皆様で聞き取りにくかった点、用語の確認がある方は挙手願います。よろしいですか。それでは以上で経済観光部に關する部分を終了し、予算審査特別委員会文教経済分科会を休憩します。執行部の皆様は御退出ください。

文教経済委員会に切り替え 午後2時49分 休憩

予算審査特別委員会文教経済委員会に切り替え 午後4時0分 再開

【農林水産部・農業委員会】

- ◆石田憲太郎分科会長 予算審査特別委員会文教経済分科会を再開いたします。

議案第11号令和7年度鳥取市一般会計予算について（説明）

- ◆石田憲太郎分科会長 それでは議案第11号令和7年度鳥取市一般会計予算のうち、所管に属する部分を議題とします。執行部より説明をお願いします。蔵増補佐。
- 蔵増達弘農政企画課課長補佐 農政企画課、蔵増です。よろしくお願いたします。それでは議案第11号令和7年度鳥取市一般会計当初予算の農林水産部の所管に属する部分について御説明いたします。お配りしております右肩に資料3と示しておりますA4版横の農林水産部・農業委員会予算審査特別委員会文教経済分科会説明資料により説明をさせていただきます。よろしくお願いたします。それでは早速20ページをお開きいただけますでしょうか。資料3の20ページでございます。一番上段に黄色い着色をしてある場所がございますので、御覧ください。農林水産部歳出合計、前年度当初予算額が45億9,445万円に対しまして、令和6年度当初予算額は7億3,998万7,000円の減額で、38億5,446万3,000円でございます。以降担当課により順にこの分科会予算資料と当初予算案事業別概要により主立ったものについて説明をさせていただきます。

まず、農政企画課分の一般会計当初予算について御説明いたします。資料3、21ページお願いたします。右側の内容欄の中段、項目としては3項目ぐらいになりますが、御覧ください。農政企画課所管といたしましては、目の農業総務費の03番新規就農推進事業費で当初予算額は

1,961万5,000円でございます。予算書は235ページ、事業別概要では176ページの上段でございます。これは新規就農者の確保育成のための経費、就農初期の経済的支援を行うものでございまして、とっとりふるさと就農舎での研修生4名の体験経費480万円、親元就農予定者3名の支援経費360万円、就農者管理運営及びふるさとアグリスクール実施経費616万5,000円が主なものでございます。そのうち、県支出金240万円は親元就農経費の3分の2に充てることにしております。

続きまして新規就農営農支援事業費です。1,110万1,000円でございます。予算書は235ページ、事業別概要では176ページの下段でございます。これは新規就農者の就農初期の経営支援等を行うものでございまして、国の制度であります経営開始資金、これは年間150万円、最長3年間でございますが、これを活用する2名分の225万円、農地借地料の助成4名分51万8,000円、経営発展支援事業として1名の就農者のトラクターの購入補助として375万円、これが主なものでございます。県支出金の973万3,000円は経営開始資金や経営発展支援事業等に充てることにしております。

続きまして項目5つ下がりまして、一番下の段を御覧ください。新たな農林水産業振興に係る計画策定事業費1,128万9,000円でございます。予算書は235ページ、事業別概要では177ページの下段になります。これは国の食料・農業・農村基本法の改正や鳥取県みどりの食料システム戦略基本計画の策定などを踏まえまして、地域経済の活性化及び農山漁村の生活環境の維持向上を図っていくため、効率性・利益性の高い生産体制の展開や生産基盤の強化、地場産品のブランド化による付加価値の向上と販路の拡大、規模拡大による産業振興や交流人口の増加、本市農林水産業を支える中山間地域の活性化による維持保全に資する支援体制の構築といった課題解決のため、第2期鳥取市農業振興プランの重点課題も継承しながら国の新たな地方創生交付金を活用し、林業や水産業も含めた新たな農林水産業の振興計画の策定のための計画策定支援業務委託料1,100万円が主なものでございます。国の支出金550万円を充当する予定としております。

続きまして資料23ページ目にお移りください。23ページの上段、上から2項目を御覧ください。農業振興費のうち、園芸産地づくり事業費の果樹振興対策事業費になります。こちらは2,631万1,000円でございます。予算書は235ページ、事業別概要では178ページの下段でございます。これは果樹の生産から出荷・販売まで県と市が協調して総合的に支援を行う事業でございます。梨に対する生産支援として936万6,000円、柿に対しましては575万円、ぶどうに対しましては583万5,000円、また、果樹カメムシ被害対策として1,053万5,000円を計上しているものでございます。県支出金として2,605万2,000円を充当することとしております。

続きまして4項目お下がりいただきまして、鳥取市農業生産拡大に向けたスマート農業推進事業費は1,335万円でございます。これは令和6年度までスマート農業実装加速化推進事業費として動かしていたものでございますが、このたび事業名をリニューアルし、新たに取り組むものでございます。予算書は235ページ、事業別概要は179ページの下段になります。これは農作業及び農業経営の効率化を図るため、国府地域や気高地域などでのICT技術を活用した運転アシスト機能付トラクターや田植え機、ドローン等の購入を行う6件の農業法人や個人の

認定農業者に対し、県市が協調して支援をする事業でございます。県支出金 889 万 9,000 円を充当することとしております。

続きまして 24 ページにお移りください。24 ページの上から 4 個目中段辺りを御覧ください。ともに目指す！担い手強化支援事業費（重点支援地方交付金）でございます。2,906 万 4,000 円でございます。予算書が 237 ページ、事業別概要では 181 ページの下段でございます。これは意欲ある農業法人や個人の認定農業者が計画的に行う取組に対しまして県と市が協調して支援するものでございます。鳥取地域の認定農業者 3 件のパイプハウス、トラクター、田植え機等の施設整備や機械導入の支援を行うものでございます。国支出金として 968 万 9,000 円と県支出金として 1,937 万 5,000 円を充当することとしております。

続きまして温暖化対策に係る新品目等チャレンジ実証事業費 100 万円でございます。予算書は 237 ページ、事業別概要では 182 ページの上段でございます。これは温暖化により県内でも新たに栽培できる可能性のある品目等を導入するための栽培実証を行うことにより、新たな園芸品目の生産振興を図ろうとするものでございます。県の支出金として 50 万を充当することとしております。

続きまして麒麟のまちうまいもん販路拡大事業費でございます。1,083 万 8,000 円でございます。予算書は 237 ページ、事業別概要では 182 ページの下段でございます。これは本市の魅力ある農林水産物等の産地化によるロットの確保や地域商社機能を活用した物流商流の一本化などの取組を推進していく必要があるため、県内外のバイヤーの実需を把握いたしまして、集荷から販売までのトータルでの販路開拓を行うとともに、主に関西圏域においてマルシェの開催や商談を通じて広域的な PR 活動を行うとともに、ふるさとの味祭りを開催するなど、麒麟のまち圏域の農林水産物等の知名度アップを図ろうとするものでございます。

続きまして資料 25 ページにお移りください。25 ページの上から 2 項目目になります。目畜産業費の鳥取市畜産暑熱対策事業費、暑い熱と書いて、暑い熱の対策、暑熱対策事業費になります。109 万 5,000 円でございます。予算書は 237 ページ、事業別概要は 184 ページの下段でございます。これは近年の温暖化により畜舎内が高温となることで家畜が暑さを感じ、熱中症になるリスクが高くなっております。畜産の生育状況に影響が生じておりますため、牛舎や豚舎の暑熱対策を実施し、暑熱ストレスによる生産性低下を防ぐことにより、畜産経営の維持継続を図ろうとするものでございます。

続きまして畜産経営緊急支援事業費（重点支援地方交付金）でございます。2,370 万 4,000 円でございます。予算書は 237 ページ、事業別概要では 185 ページの上段になります。これは原油高円安等の影響により、飼料価格や燃料代の高騰が続いており、経営コストに対する飼料費の割合が高い畜産事業者の経営を圧迫し、経営環境の悪化や生産意欲の低下から肉用牛生産基盤の弱体化が懸念されております。これまでに例を見ない飼料価格の高騰の中におきまして、飼料費等の一部を緊急的に支援し、畜産情勢が大きく変化する中、将来にわたって安定した本市の職を担う畜産事業者の経営の維持安定を図ろうとするものでございます。

続きまして、目、農業構造改善事業費の農地集積等対策事業費 1,581 万 5,000 円でございます。予算書は 239 ページ、事業別概要では 185 ページの下段でございます。これは現在、農地

中間管理事業を活用して担い手への農地集積を進めておりますが、農地中間管理機構に集積した際、集落に支払われる協力金や担い手への流動化補助金570万円のほか、関係する事務を行います会計年度任用職員の人件費等として計上しているものでございます。県支出金として400万3,000円、農地中間管理機構からの委託料として648万7,000円を充当することにしております。

1ページおめくりいただいて、26ページを御覧ください。26ページの中段、林産業費の野生鳥獣被害防止事業費1億1,497万9,000円でございます。予算書は241ページ、事業別概要は186ページの上段でございます。これは農作物の鳥獣被害を防止するための経費としまして国や県の財源を活用して事業を進めているものであり、イノシシ、シカ等の捕獲奨励金が3,875万6,000円、それからシカ等の緊急捕獲が4,358万9,000円、侵入防止柵等に対する補助金として1,013万3,000円が主なものとなっております。国の交付金として4,203万6,000円、県の支出金として2,906万9,000円を充当することにしております。

続きまして4項目下がりまして、射撃場管理運営費は5,641万5,000円でございます。予算書は241ページ、事業別概要では187ページの下段でございます。これは覚寺にございます鳥取クレー射撃場の維持管理に要する経費1,252万5,000円のほかに、令和6年度からの事業として旧射撃場に起因します周辺の山林に埋まっている鉛の弾を除去し、処理するための経費として委託料4,389万円を計上させていただいているところでございます。

それではこのページの一番下の段を御覧ください。農政企画課の当初予算歳出合計額は、前年度6億7,958万9,000円に対しまして、令和7年度は9,338万1,000円増の7億7,297万円でございます。簡単ではございますが、農政企画課分については以上でございます。

◆浅野博文分科会長 山田課長。

○山田泰弘林務水産課長 林務水産課、山田です。林務水産課所管の事業について説明いたします。資料3事業別概要において説明させていただきます。順次主立ったもののみ説明させていただきます。資料3の27ページを御覧ください。上から5行目辺りです。市行造林維持管理事業費、予算書は241ページ、事業別概要188ページ上段、予算額1,520万2,000円です。これは森林経営計画に基づく市行造林・私有林の保育間伐等森林整備を計画的に沿って実施する事業です。令和7年度は佐治町の栃原地内の間伐搬出を実施することとしております。1行下がっていただきまして、森林病虫害防除事業費です。予算書241ページ、予算額は2,629万9,000円です。景観保安上重要な福部地域や鳥取空港周辺及び青島等の松くい虫被害対策を行うもので、令和7年度は地上散布を鳥取地区空港周辺及び福部町湯山、海土、それから樹幹注入を福部町湯山、高住地区を実施することとしております。

1枚めくっていただきまして資料28ページです。上から2行目、安蔵森林公園施設管理費です。予算書は241ページ、予算額は4,333万5,000円です。これは指定管理料も含めまして令和7年度は水道施設の老朽管により、その改修を行うためのものです。2行下に下りていただきまして鳥取出合いの森施設管理費、予算書241ページ、予算額は6,507万8,000円です。鳥取出合いの森の管理運営に関し、鳥取県と共同でサービス及び効率の向上を図っているところです。今年度は指定管理料を含めまして令和7年度は木柵の修繕、バーゴラ、あずまやみたいな

ちょっと簡易的な日よけの建物です。あと、ベンチの設置をするものを予定しております。

5行下、下りていただきまして林業労働者雇用条件改善事業費、予算書241ページ、事業別概要190ページ上段、予算額72万円です。これは全国規模で行われている林業技術大会日本伐木チャンピオンシップ in 鳥取の開催に係る費用として助成を行うことで大会の運営を支援するものです。1枚めくっていただきまして29ページです。中段辺りで森林経営管理事業費、予算書241ページ、事業別概要は190ページ下段、予算額は7,385万です。森林経営管理制度は、経営管理が行われていない森林について、市が所有者の意向を確認し、森林所有者から経営管理権の委託を受け、意欲と能力のある林業経営者へ経営委託を再委託するための取組です。令和7年度は森林境界候補図の作成、境界明確化、意向調査、集積計画を実施する予定としております。

1枚めくっていただきまして30ページになります。上から4行目、造林事業費、予算書241ページ、事業別概要は191ページ下段、予算額は8,331万9,000円です。森林整備を計画的かつ有効的に推進するため、国県の造林補助にかさ上げ補助をするものですが、間伐225ヘクタール、センダン、カラマツ等の植林が15.2ヘクタール、シカ侵入防止柵の設置を5.7キロ、シカ防止柵の点検を約7.1キロ予定しております。1行下りていただきまして同じく造林事業費です。健全な山の育成事業費で、予算書241ページ、事業別概要は192ページ上段、予算額は2,463万8,000円です。間伐作業の促進と間伐材の利用拡大を促進するため、鳥取県の補助金に1立米当たり500円かさ上げを行います。令和7年度は約4万9,000立米の搬出を見込んでおります。続きまして1行下りていただきまして林業事業費、同じく豊かな森づくり推進事業費です。予算書は241ページ、事業別概要は192ページ下段、予算額4,967万3,000円です。適切な管理ができていない竹林の抜き取りに対し、鳥取県竹林整備事業補助金を活用し、補助を行うもので、令和7年度は約10ヘクタール予定しております。

1枚めくっていただきまして31ページになります。上から4行目辺りです。林産物振興対策事業費（きのこ王国とっとり推進事業費補助金）です。予算書は241ページ、予算額は107万円です。特産品である原木しいたけ等の生産体制の整備、原木の安全確保、労働者の安全確保を行う生産者の取組を支援するものです。1行下りていただきまして、同じく林産物振興対策費（きのこ王国とっとり振興施設整備事業補助金）、予算書は241ページ、事業別概要194ページ上段、予算額は6,900万です。原木しいたけ等の振興施設等の整備を支援することにより、きのこ王国とつ通りの実現を推進するためのもので、鳥取県からの間接補助で行う事業です。

2行下りていただきまして、林業・木材強化総合対策事業費のうち、森林産業イノベーション推進事業費、予算書241ページ、事業別概要195ページ上段です。予算額は1,000万円です。IC等の先端技術を活用し、森林資源や森林境界情報の情報強化とオープン化を進め、林業の成長化産業を図る事業です。令和7年度は調査研修、調査資格所得支援、ドローンを活用した業務推進等に支援する予定です。

1行下に下りていただきまして危険木事前伐採推進事業費、予算書241ページ、事業別概要は195ページ下段、予算額は550万円です。市民生活へ大きな影響を及ぼす恐れのある樹木をあらかじめ伐採する経費を支援することにより、市民による森林整備を促進し、伐倒被害を未

然に防止するものです。対象となる樹木は孤立集落の発生や電気等の重要な生活施設基盤に影響を与える危険木であり、倒木被害防災・減災対策連絡会により事前に伐採をしようと認められたものに限り、補助対象者は自治会代表者もしくはその代表が委託を締結した者、危険木の所有者としています。補助率は10分の10ですが、この伐採木を販売した場合は、その売買利益は補助対象から控除することとしています。

次に1行下の木材利用促進事業補助金です。予算書241ページ、事業別概要書196ページ上段、予算額は1,000万円です。地元産木材の利用促進を図るため、民間における住宅建築物の木質化を支援する事業です。1枚めくっていただきまして32ページ、下のほうから行きますと下のほうから3行目です。省エネ漁業推進事業費、予算書243ページ、事業別概要197ページ下段、予算額19万1,000円です。省エネ等経費削減に対する機器の購入経費や温暖化による海の変化に対応するための転換経費を支援するものです。令和7年度は2名を予定しております。

1行下、行きまして漁業経営開始円滑化事業費、予算書243ページ、事業別概要198ページ上段、予算額は229万円です。新規就労者の漁船、漁具等に初期投資に対し、助成することで、新規就業者の円滑な確保を実現するもので、令和7年度は1名を予定しております。1枚めくっていただきまして、一番上の漁港施設維持管理事業費、予算書243ページ、事業別概要は198ページ下段、予算額は6,408万3,000円です。本市が管理する岩戸漁港、酒津、船磯、青谷、夏泊、長和瀬の6港区の浚渫や修繕費の維持管理に要する費用です。下がってもらって4行下の漁港施設機能保全事業費、予算書は243ページ、事業別概要は199ページ下段、予算額は2,260万円です。漁港施設の長寿命化やライフサイクルコストの削減を図るため、機能保全計画を策定しており、計画に基づき、令和7年度は酒津、船磯、夏泊漁港の水域の浚渫工事を予定しております。1行下に下りていただきまして、漁港建設費の港整備推進事業費、予算書は243ページ、事業別概要は200ページ上段、予算額1,907万5,000円で、船磯、夏泊漁港内の照明施設の改修工事を予定しております。

1枚めくっていただきまして34ページ中段、災害復旧、過年災害発生復旧費です。補助災害復旧費、予算書は295ページ、事業別概要は201ページ上段、単独災害復旧費は、予算書は295ページ、事業別概要201ページ下段です。令和5年8月の台風7号により被災した林道若桜江府線、林道三滝線の測量設計業務及び工事費として補助災害復旧費6,966万8,000円、また、補助要件に該当しない小災害、土砂撤去とか小規模修繕などでまだ整備が完了していない単独災害復旧費として9,935万7,000円を計上させていただくものです。

一番下の行を御覧ください。林務水産課当初予算歳出合計は、前年度10億6,870万1,000円に対しまして、令和7年度は1億661万9,000円増の11億7,532万円です。

続きまして債務負担について説明させていただきます。指定管理者制度に基づく指定管理者に委託する鳥取市出合いの森公園の管理運営費、予算書241ページ、事業別概要書は300ページです。鳥取市出合いの森公園は、市民の保健休養及び森林レクリエーションの振興に資するため、平成11年鳥取市桂見に開園した森林公園であり、県と市が連携し運営を行っております。人件費の増大、物価の上昇が見られるため、人件費について113万4,000円の増額をお願いするものです。なお、令和7年度については、当初予算において計上しております。林務水産課

は以上です。

◆石田憲太郎分科会長 長石次長。

○長石良幸次長兼農村整備課長 農村整備課、長石です。それでは農村整備課に関する部分について御説明申し上げたいと思います。資料3の35ページを御覧ください。まずは、目、水道事業会計の繰出し、細目も水道事業家計の繰出しでございます。予算書は231ページ、事業別概要は202ページの上段でございます。予算額は9億8,082万5,000です。これは水道事業経費のうち、地方公営企業法第17条の2第1項で認められる経費につきまして、一般会計から繰出しを行います。内容といたしましては、簡易水道などの統廃合の経費の負担8億2,732万3,000円などでございます。

続きまして35ページの下から3段目になります。農道舗装補修等事業費でございます。予算書は237ページ、事業別概要は203ページの上段でございます。予算額は4,564万6,000円でございます。これは農業用施設の小規模な補修、修繕、更新などを行う事業でございます。令和7年度は緊急補修業務であるとか、赤波地区の水道修繕などを予定しております。

続きまして35ページの一番下でございます。県営事業負担金です。予算書は237ページ、事業別概要は204ページの上段、予算額は7,594万1,000円でございます。これは農地とか農業用施設に係ります県営事業に伴う負担金でございます。令和7年度につきましては、鳥取県のほうで、4事業6地区で事業実施される予定でございます。

続きまして資料3の36ページを御覧ください。上から2段目です。排水機場維持管理費でございます。予算書は237ページ、事業別概要は205ページの上段です。予算額は1,075万円です。これは西円通寺とか、服部にございます排水機場の点検であるとか、維持管理などの経費でございます。令和7年度は西円通寺排水機場の排水ゲートの電線管などを行う予定としております。

続きまして資料3の36ページの一番下を御覧ください。多面的機能支払事業費です。予算書は237ページ、事業別概要は207ページ上段です。予算額は2億743万5,000円です。これは地域や協働で行う農業施設や農地の保全活動を支援する事業でございます。組織の取組面積に応じて交付金を交付するものでございます。令和7年度は130組織2,829ヘクタールの取組みを支援する予定でございます。

続きまして資料3の37ページを御覧いただけますでしょうか。中段辺りになりますけれども、ため池関連事業費のうち、危険ため池廃止事業費でございます。予算書は237ページ、事業別概要は209ページの下段、予算額は1,100万円でございます。これは既に農業用として受益がなくなって利用されていないため池のうち、大雨などにより決壊した際に下流の人家等に被害をもたらす恐れのある防災重点農業ため池につきまして、堤体を開削して決壊の危険を排除するものでございます。令和7年度は2か所のため池廃止工事を予定しております。

続きまして、同じくため池関連事業費のうち、ため池改修事業費でございます。予算書は237ページ、事業別概要書は210ページ上段でございます。予算額は2,460万円です。これは防災重点農業ため池のうち、地震であるとか、豪雨に対する体制が劣っておりますため池の改修を行う事業でありまして、令和7年度につきましては、倭文地内にあります防災重点農業ため池

の湯谷池というところですけど、こちらの用地買収や改修工事を行う予定としております。

続きまして資料3の37ページ一番下を御覧ください。中山間地域等直接支払事業費、予算書は239ページ、事業別概要は211ページ上段、予算額は1億741万5,000円でございます。これは平地と比べまして耕作条件が不利な中山間地域等におきまして、耕作条件の不利を補正するため集落等を単位といたしまして、農地の維持管理を行う協定を締結して、協定に基づいて農地の保全を行う農業者等に対しまして、協定農用地面積に応じて支援を行うものでございます。令和7年度につきましては119組織808ヘクタールの支援を行う予定でございます。

続きまして資料3の38ページを御覧ください。こちらが、目農林水産業施設災害復旧費で、過年発生災害復旧費でございます。予算書は295ページ、事業別概要につきましては補助災害復旧費が211ページの下段、単独災害復旧事業費が212ページの上段となっております。予算額は補助災害復旧費が3億5,186万円、単独災害復旧事業費が5,586万円でございます。これは令和5年の台風7号で被災いたしました農地や農業用施設の復旧工事であります。それで、主に河川護岸の復旧完了後に着手できる農地や農業用水路などの復旧を行う予定としております。

資料3の38ページ中段を御覧ください。農村整備課の令和7年度予算額は19億617万3,000円となっております。

引き続きまして、債務負担行為についても御説明したいと思います。予算書が321ページ、事業別概要書が301ページになりますので事業別概要書の301ページのほうを御覧いただけたらと思います。よろしいでしょうか。ため池改修事業費でございます。これは先ほども説明いたしました豪雨体制等が不足しております鳥取市倭文にあります湯谷池におきまして、改修に当たっての測量設計業務が完了しましたことから、用地買収後に工事発注を行うこととしております。ただし、工程上単年度での施工が難しいことから令和8年度の債務負担をお願いするものでございます。農村整備課につきましては以上です。

◆石田憲太郎分科委員長 川口事務局長。

○川口悦代事務局長 農業委員会事務局、川口です。農業委員会事務局の所管について説明させていただきます。資料3の39ページを御覧ください。予算書は233ページです。令和7年度の主な事業としまして39ページ上から4行目、農業委員会委員報酬、予算額が2,207万4,000円は農業委員19名、農地最適化推進委員48名分の報酬です。1行下、職員費、予算額4,797万3,000円は正職員6名分の人件費です。その1行下、農政推進費、予算額637万5,000円は委員会運営のための基本的活動費としまして、農業委員会だよりの発行事務費、通信費、会計年度任用職員1名分の報酬です。40ページに移っていただきまして、1行目の農地管理費です。予算額は371万9,000円です。事業別概要は274ページです。機構集積支援事業費です。この事業は遊休農地の把握や違反転用防止のための調査に係る事務費用、会計年度任用職員1名分の報酬、委員が参加する研修費用、旅費等を計上しているものです。

最下段の歳出合計は8,109万5,000円で、前年度7,869万3,000円に対しまして204万2,000円の増です。農業委員会事務局からは以上となります。

◆石田憲太郎分科委員長 ただいま説明をいただきました。では、委員の皆様で聴き取りにくか

った点、用語の確認がある方は挙手願います。大丈夫ですか。それでは以上で農林水産部・農業委員会に関する部分を終了し、予算審査特別委員会文教経済分科会を閉会いたします。執行部の皆様は御退出願います。

文教経済委員会に切り替え 午後4時41分 閉会

## 文教経済委員会・ 予算審査特別委員会 文教経済分科会 日程

日時：令和7年2月26日（水）10：00～

場所：7階 第2委員会室

**経済観光部** (10：00～)

### ----- <文教経済委員会> -----

#### ◎議案（先議分）【説明・質疑・討論・採決】

議案第28号 令和6年度鳥取市一般会計補正予算（第9号）【所管に属する部分】

議案第30号 令和6年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計補正予算（第2号）

議案第36号 令和6年度鳥取市温泉事業費特別会計補正予算（第4号）

議案第37号 令和6年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計補正予算（第3号）

#### ◎議案【説明】

議案第55号 鳥取市立温泉館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

#### ◎陳情【質疑・討論・採決】

<新規>

令和7年陳情第3号

「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の提出を求める陳情

#### ◎報告

麒麟のまち関西情報発信拠点運営事業者の公募型プロポーザルの結果について

過疎地域での持続的な交通事業モデルの社会実装を目指す「ReCIDA コンソーシアム」の参画について

ループ麒麟獅子ルート変更及び運賃等の変更について

----- <予算審査特別委員会 文教経済分科会> -----

◎議案【説明】

議案第 11 号 令和 7 年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第 13 号 令和 7 年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算

議案第 19 号 令和 7 年度鳥取市温泉事業費特別会計予算

議案第 20 号 令和 7 年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算

**農林水産部・農業委員会** (経済観光部終了後)

----- <文教経済委員会> -----

◎議案(先議分)【説明・質疑・討論・採決】

議案第 28 号 令和 6 年度鳥取市一般会計補正予算(第 9 号)【所管に属する部分】

◎報告

鳥取市市政改革プラン実施計画について

----- <予算審査特別委員会 文教経済分科会> -----

◎議案【説明】

議案第 11 号 令和 7 年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

----- <文教経済委員会> -----

**その他**

令和 7 年度文教経済委員会視察について